

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

私たち JR 東労働組合新幹線地本は、新幹線統括本部との交渉機関として、昨年5月22日に結成しました。これまで4本の申し入れを提出し、2回の団体交渉を開催することができました。まだまだ不馴れなためか、大きな成果と打ち出せるものはありませんが、小さな事からコツコツと経験して得たものを大切にしていきたいと考えています。今後も、ジョブローテーションの地方交渉、ダイヤ改正、車両職社員基礎教育、36協定の職場代表選挙、36協定に関する諸問題などなど課題山積ではありますが、労働組合を名乗る以上、労働組合らしく取り組んでいきます。

さて、2020年は東京オリンピックが開催されます。私たちは鉄道労働者としてインフラを担っていますが、「最も安全で安心な乗り物は鉄道である！」とアピールする絶好の場を得ることができました。それを実現させるには、私たちが健康でなければなりません。休日出勤、時間外労働、不払い労働が増えれば増えるほど、我が身に病気としてはねかえってきます。私たちの職場はどうでしょうか。厳しい要員のなかで、本来業務の他に業務改善や委員会活動、マイプロジェクト、自己啓発研修など数多くの施策が重くのしかかっています。会社が「変革2027」で盛んに「挑戦」を呼び掛けようとも、人間が最後の安全の砦であることは変わりません。私たちは「身体」が資本です。身も心も安心して仕事ができる職場環境とはどういうものか、いま一度考え、本当に必要な仕事にしっかり集中できる職場環境を創り出していきたいと思います。

世界情勢はいっそう厳しさを増しています。自己の利益のみを追求し、対立を激化させている国のリーダーたち。明日にでも戦争が勃発してもおかしくないなかにあえて踏み込もうとする安倍政権。国内ではその条件整備のために憲法改正に向けた動きと、国に奉仕する精神を植えつける教育改革が進められています。戦争によって常に犠牲になるのは弱い労働者と子供たち。オリンピック後に現れるだろう崖を下るような経済の失速が明らかとなるなか、未来を守るために情勢を学習し、労働組合として出来ることに取り組んでいかなければなりません。

JR 東日本において、私たち「JR 東労働組合」が、働く者の一筋の希望としていくためにも、私たちの運動を広め、私たちの旗の下に結集させていこう！

2020年が良い年でありますように。

JR 東労働組合 新幹線地方本部

執行委員長 小屋直幸